

## 第7章 弘前大学同窓会・後援会

### 第1節 弘前大学同窓会

#### 1. 弘前大学同窓会設立

弘前大学同窓会（以下「全学同窓会」という。）は、弘前大学創立50周年を契機に、1999年（平成11）6月4日に設立された。各学部等の同窓会が密接な連携のもとに、相互の啓発を行い、本学の教育研究活動の支援を行うことにより、各同窓会及び本学の発展に寄与することを目的としている。

全学同窓会は、「人文学部同窓会」、「教育学部同窓会」、「医学部鵬桜会」、「医学部保健学科さくら会」、「理工学部同樹会」、「農学生命科学部同窓会」、「弘前大学文理学部卒業生」の、7つの同窓会で組織されている。

主な事業として、吉田豊元学長が2002年（平成14）5月に設立した「吉田基金」により、TOEICの高得点者（990点満点中、900点以上）を審査対象として、賞状と副賞を授与している。これらは、英語によるコミュニケーション能力の向上に大きく貢献するものであり、弘前大学の国際化教育の推進に寄与している。その他、同窓会相互の親睦を図る事業、大学の教育研究活動に対する支援、教育研究環境の整備支援などを行っている。

#### 2. 東日本大震災への支援

2011年（平成23）3月11日に発生した東日本大震災に際しては、被災した地域で活動を行う弘前大学関係のボランティア団体に対し、全学同窓会では活動の一部を助成した。弘前大学人文学部ボランティアセンター（当時）の岩手県野田村における支援交流活動を始め、「グラスハーブ・アンサンブル」、「津軽三味線サークル」、「スティーロパン部」による岩手県宮古市、野田村、釜石市、久慈市、南三陸町での演奏ボランティアに対する支援である。

この助成活動は、2011年（平成23）から2013年（平成25）まで、3年間続けられた。

### 3. 全学同窓会長交代

2015年（平成27）4月25日の理事会において、2007年（平成19）から全学同窓会長を勤めていた三上巽氏の任期満了に伴う同窓会役員改選が行われ、西澤一治氏（医学部鵬桜会理事長）が会長に就任した。

初代会長の東海林恒雄氏（東京同窓会会長、当時）、二代目の三上巽氏（農学生命科学部同窓会会長、当時）の後を受けての就任となった。

### 4. ホームカミングデイの実施

2015年（平成27）及び2016年（平成28）の総合文化祭開催日に合わせ、「弘前大学ホームカミングデイ」を実施した。「ホームカミングデイ」は、弘前大学の卒業生、修了生、そして在学生・教職員のご家族の方々に、弘前大学の教育・研究活動を知ってもらうことで、相互交流と親睦を深めるためのイベントである。このイベントに際し、全学同窓会の支援により、八戸市と弘前大学間でシャトルバスを運行し、同窓会関係者や在学生の家族などが利用した。

## 第2節 弘前大学後援会

### 1. 弘前大学後援会設立の目的

2004年（平成16）4月、弘前大学をはじめとする国立大学が法人化されてから、本学は、自主性、自立性、自己責任に基づき大学運営を行い、その効率性を高め、競争力を高めることで、真に学生のためとなる教育を展開し、地域社会と国民に貢献する大学となることが強く求められてきた。また、キャンパスの主役である学生のニーズを十分斟酌し、学生に目を向け、学生サービスの向上と充実を図り、あわせて教育環境の整備を図ることを最重要課題として取り組んでいくことが必要となっている。

このため、学生の学業、課外活動への助成、学生の進路指導に必要な助成等学生生活の多岐にわたる分野の助成を目的として、全学生・教職員を対象とした弘前大学後援会が弘前大学の法人化と期を同じく2004年(平成16)4月に設立され、これを機会に大学の一層の発展に寄与してきた。

## 2. 弘前大学後援会による助成事業

後援会の事務経費以外の部分は、全て学生・教職員の皆様に還元され、大学内の学習環境の整備にも使用されている。弘前大学後援会では、様々な助成事業を行っており、その一部を以下に記す。

- ・学生、教職員、地域住民が参加する総合文化祭を盛り上げるため、会場設備や音響機材、よさこい参加団体への支援
- ・本学学生の課外活動の整備・充実を図るため、その一部として、東北地区大学体育大会の連盟費を負担
- ・東京都内の企業見学、弘前大学卒業生との懇談会により、学生に職業観を深める機会を提供する活動
- ・就職支援活動の一環として、第一線で活躍している本学卒業生を招き、就職試験の心構えなどを講演してもらう活動
- ・医学部医学科では、4年次に臨床実習前の客観的臨床能力試験（OSCE）を行うが、模擬患者・看護師役として学生の協力をお願いしており、これに対する謝礼に係る支援
- ・弘前大学の各学部の取り組み等を保護者に理解してもらうこと、そして教員と保護者が密接な連携を保つための情報交換の場として「保護者懇談会」の開催を支援
- ・教育研究活動等において顕著な功績があったと認められる個人又は団体に対して、学長から表彰状及び記念品を授与する事業
- ・留学生の増加は、キャンパス内で多様な人材から刺激を受ける機会の増加に繋がり、本学の学生にとってプラスになるため、留学生の増加を図るために、現在本学に在籍している留学生を首都圏等に派遣し、日本語学校等を訪問して本学の魅力をPRする活動を支援

この他、会長裁量による支援として、式典用アカデミックガウンの購

入補助や、マイクロソフト オフィス スペシャリスト (MOS) 日本大会表彰式旅費、推薦入試 I 合格者交流プログラム、日本山岳会学生部ムスタン登山隊、北日本医科学生オーケストラなどに対する支援も行った。

(総務部)